



EXHAUSTO CHIMNEY FAN

取扱説明書



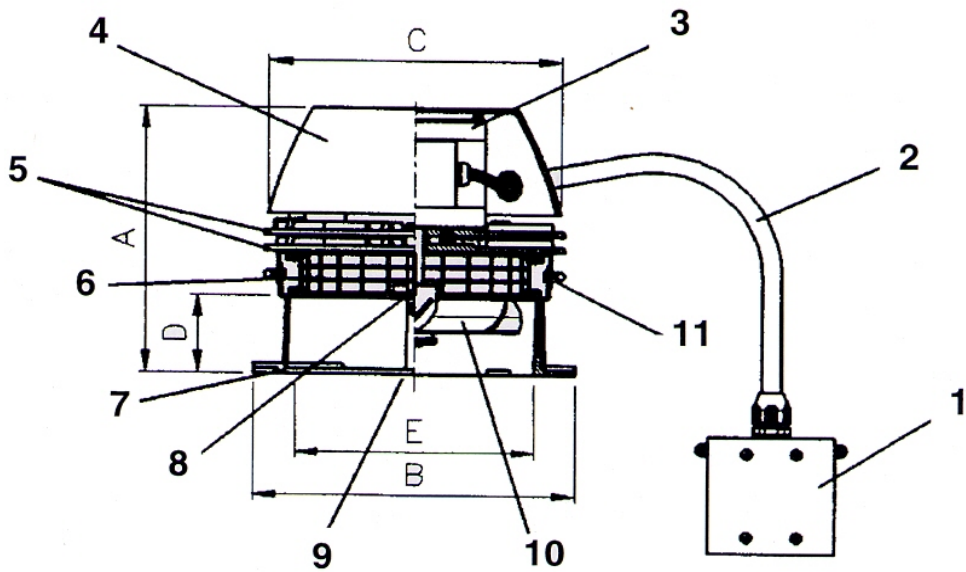
輸入元：長野総商株式会社

〒389-0207 長野県北佐久郡御代田町馬瀬口 1625-83

Tel:0267-32-2353 Fax:0267-32-2690 フリーダイヤル：0120-32-2353

スペック

		RS 9	RS 12	RS 14	RS 16
寸法 (mm)	A	250	275	330	450
	B	300	365	420	480
	C	285	350	395	450
	D	75	85	100	100
	E	215	280	325	375
重量 (kg)		13	17	21	28
電流 (A)		0.4	1.2	1.4	3.9
回転数		1600			
消費電力 (W) 60Hz		20	80	100	250
最大風量 (m3/h)		800	1650	2400	3400



1 ジャンクションボックス	7 ベースプレート
2 コード	8 ロッキングナット
3 モーター	9 煙突口
4 モーターハウジング	10 プロペラシャフト
5 冷却プレート	11 ヒンジ
6 防鳥ネット	

煙突取り付け方法・断熱二重煙突

Step1 :

もし事前に煙突のトップが接続されている場合は取り外します。

煙突とのかみ合いを確実にするために必要であればアダプターを接続します。アダプターのカーラー部分を煙突の内壁に、ステンレススクリューで固定します。

煙突の内径に一致するよう、付属のファイバーマットの中央に穴を開けます。

もし、煙突の口径が大きい場合は、口径を縮小させるアダプターを取り付け、ファンの口径にあわせてください。ファンの口径とファイバーマットの大きさは一致していなければなりません。

ファイバーマットはアルミニウム面が上面です。(ファンのベースに接触する部分がアルミ面)

Step 2 :

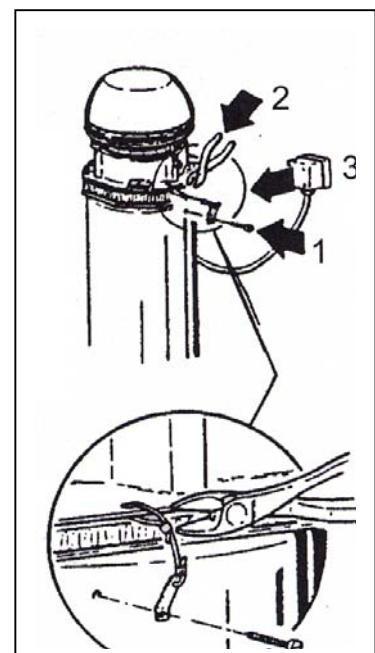
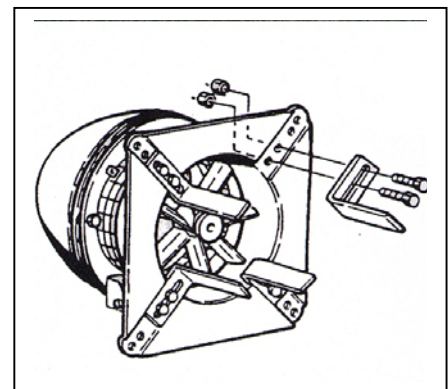
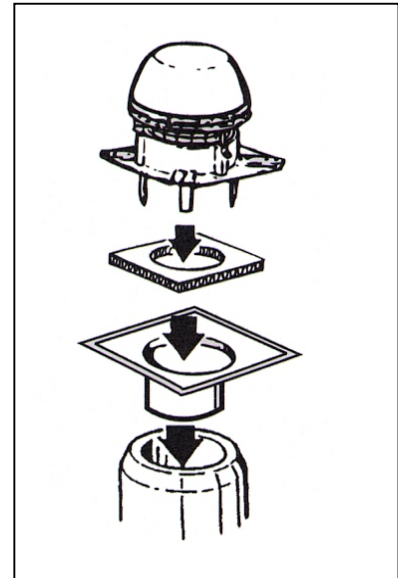
ファンベースの裏側にブラケットを取り付けます。

取り付けるボルトの位置は内側の二つのホールを使用します。最終的なブラケットの位置は煙突の内壁(又はアダプターの内壁)との間に若干の隙間が出来るよう設定します。煙突の内壁とブラケットが接触していると、震動により音がすることがあります。

Step 3 :

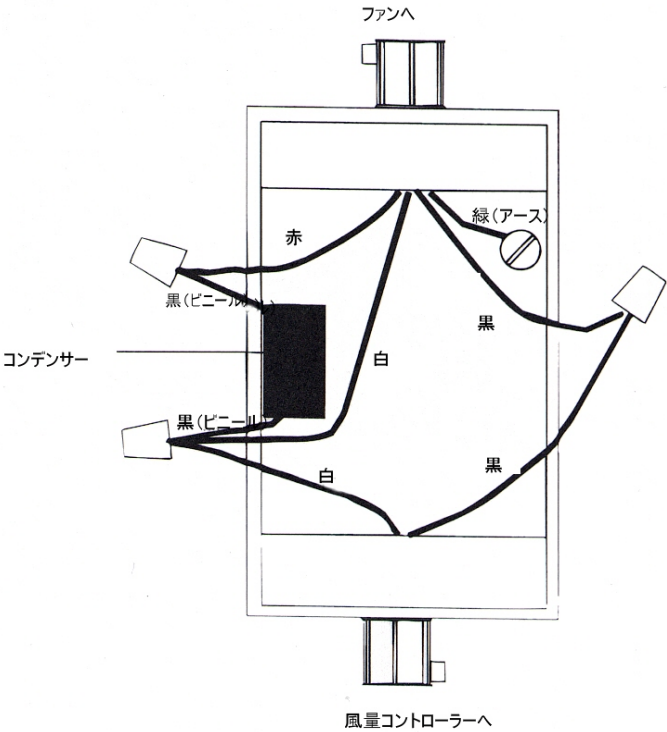
煙突のトップにファンを取り付ける準備ができたなら、ファイバーマットの上にファンを設置します。

注意：ファンの下の煙突コンディションや強風等の条件によっては、安全のため、ファンをワイヤー等で固定してください。

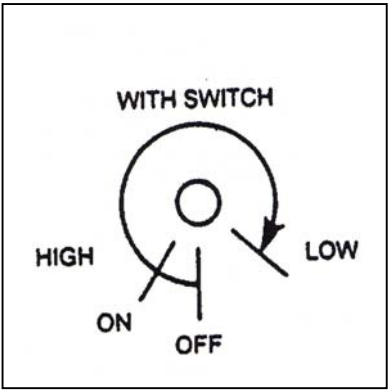
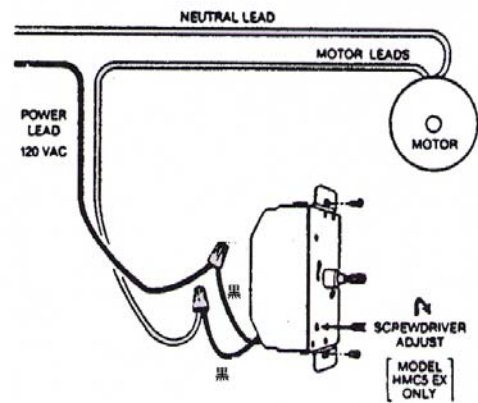


配線

ジャンクションボックス内
の配線図



風量コントローラー



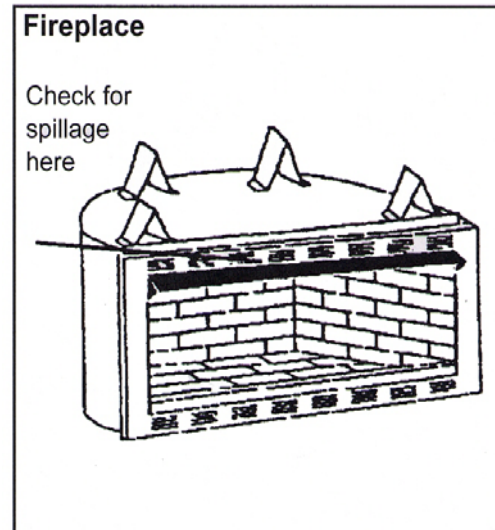
スイッチを入れてすぐの位置が
ハイスピードの位置です。
右に廻すほどスピードが落ちま
す。

試運転

薪ストーブ・暖炉

数本の薪をセットします。着火する前にファンを回します。風量コントローラーは **HIGH** ポジション（最強）にセットします。薪ストーブの場合は空気調整レバーを開きます。着火後、図の位置から（薪ストーブの場合は空気取入口）煙漏れがないかチェックします。

燃え始めたらファンのスピードを弱めます。適切なファンスピードが決まったら、カバープレートにマークしておくことをお勧めします。



ピザ釜

ほとんどのピザ釜はドーム状で、釜の入り口は閉めることが出来るよう、鉄製のドアがついています。

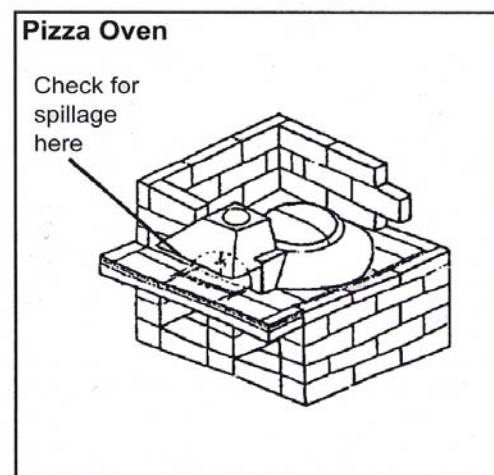
釜に薪を入れ、着火します。

ファンを **HIGH** スピードにセットします。

（他のレンジフード等、換気扇類も回します。）部屋に煙が戻らないかチェックします。

燃え始めたらファンのスピードを弱めます。

適切なファンスピードが決まったら、カバープレートにマークしておくことをお勧めします。



操作

⇒暖炉・薪ストーブ

着火時は、ファンのスピードを **HIGH** ポジションにします。

炎が落ち着き、3分～5分したら、ファンのスピードの調整をします。

設定の位置は、煙の引きのレベルと、炎（燃焼）の安定が保たれるポジションに設定してください。

薪を追加した後は、ファンのスピードを一時上げると、燃焼効率保ち、エネルギー保存に有効です。

⇒ピザ釜

着火時は、ファンのスピードを **HIGH** ポジションにします。

着火後は手順等、各メーカーの指示に従い燃焼させます。

炎が落ち着き、3分～5分したら、ファンのスピードの調整をします。

設定の位置は、煙の引きのレベルと、炎（燃焼）の安定が保たれるポジションに設定してください。

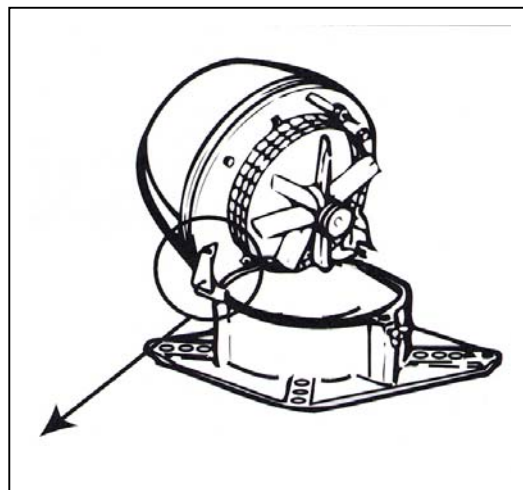
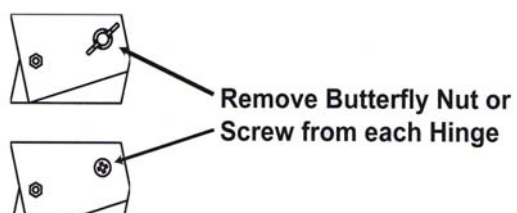
薪を追加した後は、短時間、ファンのスピードを上げる必要があるかもしれません。

注意：焼き過ぎ（高温燃焼）は危険です。

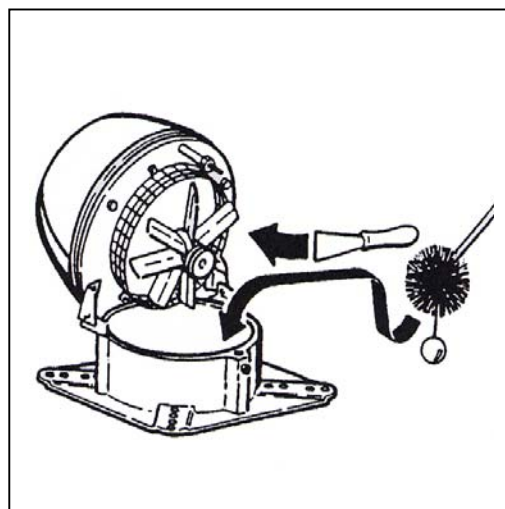
付着したクレオソートに着火すると、煙突火災の原因になります。

メンテナンス

クリーニングの前に図のようにファン上部を開きます。



ファンの点検は、年に一度煙突掃除をする際に一緒に行ってください。クレオソートや煤をファンの羽根、及びモーターハウジングのボトムから取り除いてください。
クリーニングを楽に行えるように、ファンのトップは図のように開くことができます。



クレオソートや煤を取り除くことは非常に重要です。クレオソートは煙突火災の原因になります。煙突掃除の間隔は、使用頻度や薪の乾燥状態によって異なりますが、定期的に行うことをお勧めします。暖炉の場合、週 2.3 回の使用で、半年に一度、ピザ釜は、2.3 ヶ月に一度のメンテナンスが必要です。

MEMO